



## 可愛い年少さんの劇遊び会



4日(土)の年少さんの劇遊び会には、たくさんのお父さんやお母さん、お祖父ちゃんやお祖母ちゃんが可愛い我が子、我が孫の演技(?)

と一緒に楽しんでいただきまして、誠にありがとうございました。

年少さんは、初めて大勢の前で劇遊びをするという非日常的な雰囲気にもかかわらず、いつもと変わらず元気に楽しむ子、雰囲気に吞まれてしまう子、緊張して思う存分声が出せない子など見られましたが、みんな、自分が選んだ役になって、存分に楽しむことができたようです。

年少さんの特徴は、全員ではありませんが、自分が選ぶ役が固定していないということです。昨日の劇遊びで、自分がやった役よりも別の役が面白そうだから変えてみるとか、その日に、強く興味が湧いた役をやりたくなったとか、理由はいろいろありますが、昨日までの練習と違った役を希望する子がいるのは当たり前のことです。

従って、年少担任の不安は、年中・年長と違って、事前に役を決め、台詞を覚えて、繰り返し練習することができないために、当日何が起こるかかわからないことです。しかし、ほとんどの年少さんが、ストーリーを完全に頭に入れ、台詞を覚えているのには感心しました。また、どの役も一通り経験しているので当日、どんな役であってもすぐに対応できるという強みを持っています。

年少劇遊びの特徴の一つに、場の構成があります。年中・年長と違いステージを使いません。遊戯室のフロア全体が、ダイナミックなセットとなっています。そのため子どもの動きもダイナミックでしたね。

らっこ組の「3じのおやつにきてください」では大きな川がフロア全体に流れ、ステージと川の両方を使って、緑の緑のお家探しの旅が始まりました。最後にみんなで楽しい歌を歌いました



ぱんだ組の「もりのお風呂」は、文字通り、森のお風呂がフロアの真ん中に出現し、子どもたちが楽しそうにお風呂に入って遊びました。

こあら組の「ねずみのでんしゃ」は、チュウ学校へ行きたがらない子どもたちを心配した母親が一計を案じて線路をフロアいっぱい敷き詰めました。その結果、子どもたちを楽しく、無事にチュウ学校へ連れて行くことができました。



どのクラスも、遊戯室全体を使ったセットであったため、子どもたちの動きはダイナミックでした。この動きが、子どもたちの劇遊びをさらに楽しくしたようです。

保護者の皆様も、子どもたちの可愛い仕草や動作に思わずニコリ。つい、子どもたちの劇遊びに飛び入りし、子どもたちと一緒に散歩したり、お風呂に入ったり、線路を歩いたりしてみたかったのではありませんか。

## 猛威を振るったインフルエンザ

今年のインフルエンザは、猛威を振るっているようです。福岡では、早良区や城南区から流行し、7日の週は、とうとう中央区まで押し寄せ、附属幼稚園も急速に罹患者数が増大しました。2クラスを学級閉鎖にしましたが、登園してきた残り6クラスでも40数人がインフルエンザに感染しているということで、教頭、養護教諭と相談し、学校医さんの了解を取って、急遽、10日(金)に幼稚園を閉鎖をした次第です。お陰で、13日の週は、罹患者数が激減し、効果があったように思います。実は、私も、子どもたちのパワー(?)に負けまして、生まれて初めてインフルエンザを体験しました。体験して初めて、罹患した場合の症状や、発熱の期間、解熱するまでの期間等、解説書に書いてある通りのことを身を持って理解することができました。

幼稚園では収束の様相を呈していますが、養護教諭によると、福岡はまだ警戒警報レベルにあるので十分な注意が必要だそうです。また、A型に引き続き、B型も流行の兆しを見せるとかで、予断を許さないとか。ご家庭でも気を付けてください。